

生きづらさ からの 大脱出 Part 3

支援者がつながるために

参加費

無料

(不登校支援をはじめ、多様な生きづらさへの支援に関心をお持ちの方の参加をお待ちしております)

定員

50名

(事前申込制)

内容

1. 講演 遠藤美香さん
2. 悠々ホルンさんのトーク
3. トークセッション
遠藤美香さん 悠々ホルンさん
伴火穂さん(高校講師・社会福祉士)

※ 終了後に当日参加した方同士の名刺交換会あり

生きづらさは、子どもから大人まで、さまざまな形で現れます。要支援者の年齢や特性・環境により多岐にわたります。

今回のテーマは「不登校」です。

不登校の背景にはさまざまな課題や生きづらさが見え隠れしています。入学前や卒業後にも支援が必要です。それらの支援をより効果的なものにするためには、支援者同士がつながることも重要となります。

生活支援、相談支援、就労支援、療育支援、地域活動等、学校・行政も含めた公的支援や、地域での支援活動に係る人たちが、互いの支援について理解を深め、理念と情報の共有を行い、切れ目のない支援について共に考えます。

日
時

11月28日(土)
13時30分～15時30分
(受付開始 13時15分～)

場
所

我孫子南近隣センターホール
我孫子市本町3丁目1-2 けやきプラザ9階

子どものSOSソングライター 悠々ホルンさん

我孫子市出身。子ども達の辛い想いを代弁するシンガーソングライター。
10代の時に、不登校や自殺未遂に及ぶ。

実験をもとにした歌をインターネット上に公開したことをキッカケに、心に傷を負った中高生を中心に支持が広がり、これまでに7000通を超える応援・相談メッセージが全国から手紙やメールにて届いている。その内容は、家庭不和、いじめ、虐待、不登校、援助交際、自傷行為、病气、自殺願望など。

子ども達のSOSを歌や動画を通して代弁する他、法務省・厚生労働省、学校、不登校の親の会など、あらゆる方面から声がかかり講演活動を各地で行っている。朝日新聞やNHKなど、様々なメディアにて取り上げられてきた。

我孫子市教育研究所長 遠藤美香さん

我孫子市出身。平成12年に心理相談員として我孫子市に入庁。我孫子市で初めての正職の心理相談員として採用される。

こども発達センター、保健センターなどで相談業務と療育の支援を中心に、20年子どもとその保護者や家族に寄り添ってきた。最終の2年は、こども発達センターの所長として、現場の経験を活かし、子ども行政推進のため施策に携わった。

平成31年4月から我孫子市教育委員会教育研究所の所長として、教育行政の推進に携わっている。特別支援教育と長欠児童生徒対策事業、特に適応指導教室「ヤング手習沼」の運営に尽力している。どこに居ても子どもファースト。子どもたちが我孫子市で育ってよかったと思えるような仕事をずっとしていこうと思っています。

協力

我孫子市地区障害者まちかど相談室・あびこ相談支援センター／就労移行支援事業所エール我孫子／我孫子自主夜間中学あびこプラスワン／就労継続支援B型事業所 みんなの広場「風」／NPO法人わごころ／認定NPO法人東葛市民後見人の会／不登校問題を考える東葛の会子どもの居場所『ひだまり』／不登校の子を持つ親の会 青空の会(我孫子)

主催：あびこ市民活動ネットワーク、あびこ市民活動ステーション

後援：我孫子市社会福祉協議会／我孫子市教育委員会

お申し込み・お問い合わせ先

あびこ市民活動ステーション

電話・FAX 04-7165-4370

メール abikosks@themis.ocn.ne.jp